

2014/12/25 (Thu.) 第90号

日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース
 - 発行所 -
 日本医師連盟
 東京都文京区本駒込2-28-16
 〒113-8621
 TEL: 03-3947-7815
 FAX: 03-3947-2662
 E-mail: info01@nichiren.jp

http://www.nichiiren.jp/

定価 1年400円 (但し日医連負担金を含む)

参議院比例代表(全国区)選挙

(平成28年7月予定)

自見はなこ氏の推薦を決定!



日医連執行委員会で挨拶する横倉義武委員長(11月25日)

**日医連初の女性候補者擁立へ
日医連の団結と
医政活動の積極的展開を**

執行委員会の冒頭、横倉義武委員長は次のように挨拶した。あり、社会保障費については、最終的に政治の場で決着する。消費税一〇%への引き上げが延期されたことによる、社会保障費の抑制や、次期診療報酬改定に関する財源問題をどのように打開していくかという点を今後検討していくかなくてはならない。これらを解決するためには、我々も組織として一致団結していかなくてはならないと考えている。また、本日は次期参議院選挙への対応について



11月25日、日医連は、日本医師会館で常任執行委員会・執行委員会を開催し、自見はなこ氏(38歳・東京都医師会)を平成28年7月施行予定の参議院比例代表選挙における、日本医師連盟推薦候補者とするを全会一致で決議した。今後、自民党に公認申請を行う予定である。

「わが国は国民皆保険体制であり、社会保障費については、最終的に政治の場で決着する。消費税一〇%への引き上げが延期されたことによる、社会保障費の抑制や、次期診療報酬改定に関する財源問題をどのように打開していくかという点を今後検討していくかなくてはならない。これらを解決するためには、我々も組織として一致団結していかなくてはならないと考えている。また、本日は次期参議院選挙への対応について

も議論をいただきたい」と挨拶し、日医連(日医)の団結と医政活動の積極的展開を訴えた。引き続き、参議院推薦候補者選考過程について今村聡副委員長から次のような報告があった。

「九月の執行委員会のあと、全国の都道府県医師連盟へ比例代表候補者の公募をお願いし、十一月十四日に締切った。公募申請者は十一都県から推薦のあった自見はなこ氏一名のみであった。

去る十一月十八日に開催された常任執行委員会において、今回の公募状況の報告を行い、本日(十一月二十五日)の執行委員会におはかりすることを、全会一致でご了承いただいたことである。」

続いて横倉委員長から所属政党について「参議院比例区は政党からの立候補届出となるため、前回の執行委員会で決議いただいたとおり、自民党へ公認

申請を行うこととなる」と説明があり執行委員の意見を求めた。主な意見として次のような発言があった。

○公募申請は一名であったが、他には候補となり得る人材はいなかったのか?

○若い候補者なので、日医連としてしっかりと育てていただくようお願いしたい。

(横倉委員長)「公募を行う以前の段階では、可能性のある方が若干名いたが、複数県からの推薦を要する等の公募要件や、自民党への公認申請の件等により候補予定者が絞りこまれた」との意見があった。

他に意見はなく、横倉委員長から「本日の議論を踏まえ、自見はなこ氏を次期参議院比例選挙における日医連の推薦候補者として」と考えている」と提案があり、全会一致で自見はなこ氏を推薦候補者とすることを決議した。

自見はなこ (自見 英子)

プロフィール (平成26年12月現在)

生年月日: 1976年(昭和51年)2月15日生(38歳)
 長崎県佐世保市生まれ
 所属医師会: 東京都医師会

- (経歴)
- 1998年 筑波大学第三学群国際関係学類 卒業
 - 2004年 東海大学医学部医学科 卒業
 - 2004年 東海大学医学部附属病院初期研修
 - 2006年 池上総合病院内科後期研修
 - 2007年 東京大学医学部小児科入局・同附属病院小児科勤務
 - 2008年 青梅市立総合病院小児科
 - 2009年 虎の門病院小児科~現在(非常勤)
 - 2010年 国会議員秘書
 - その他 江東区大島小児科医院非常勤
大田区池上総合病院非常勤

- (免許・資格)
- 医師免許
 - 日本内科学会 認定内科医
 - 日本小児科学会 小児科専門医
 - 国会議員政策担当秘書資格
- (その他)
- 趣味: マラソン、読書、旅行
 - 2011年2月、ランナーとして参加していた青梅マラソンで人命救助を行い東京消防庁から消防総監感謝状(人命救助)を受けた。

全会一致で自見氏の推薦を決定

横倉委員長 安倍総理と面会



(右から) 安倍晋三内閣総理大臣、横倉義武委員長、今村聡副委員長 (12月25日 総理官邸)

晋三内閣総理大臣と面会した。冒頭、横倉委員長から安倍総理に、第三次安倍内閣発足のお祝いの言葉が述べられた。

また、横倉委員長からは①国民医療推進のための財源確保について、②国家戦略特区における医学部新設問題への慎重な対応について、③平成二十七年度的税制改正大綱について、

横倉義武委員長は十二月二十五日午前、今村聡副委員長とともに、総理大臣官邸を訪れ、安倍

選挙における日医連推薦候補者



総理官邸にて (12月25日)

決定の報告を総理に行った。面会は終始和やかな雰囲気の中で行われ、安倍総理に対し持続可能な社会保障の実現に向けた日医連(日医)の政策について理解を求めることができた面会となった。

今村副委員長・自見はなこ氏 谷垣自民幹事長・茂木自民選対委員長と面談 参議院比例代表候補者決定を 報告・公認申請へ

今村聡副委員長は、横倉義武委員長の代理として、十二月十九日、次期参議院比例代表選挙日医連推薦候補者に決定した自見はなこ氏とともに、自民党本部を訪れ、谷垣禎一自民党幹事長、茂木敏充自民党選挙対策委員長と面談した。

面談では今村副委員長から、日医連の次期参議院比例代表選挙候補者選考の経過説明が行われた。そのうえで、今村副委員長は「日医連は、候補者として

決定した自見はなこ氏について、自民党に公認申請を行いたい」と申し出た。自見氏は「日本の医療・介護がよくなる制度となるよう、女性や勤務医の視点も大切にしつつ、医師連盟(医師会)・自民党の諸先輩の先生方のご指導のもと、精一杯の努力を続けていく覚悟ですので、何卒よろしくお願ひ申し上げます」と決意を述べた。

これを受け、谷垣幹事長は「本医師連盟の決定を重く受け止めている。前回に引き続き、参議院比例代表に自民党から候補者を擁立していただけることは大変喜ばしいことである。今後所定の手続きを進めていく」と応じ、自見氏の自民党公認について、手続きに入ることを表明した。



(左から) 今村聡副委員長、自見はなこ氏、谷垣禎一自民党幹事長、茂木敏充自民党選挙対策委員長 (12月19日 自民党本部)



鴨下一郎候補の出陣式で挨拶する横倉義武委員長 (12月4日)



安倍晋三内閣総理大臣(自民党総裁)と横倉義武委員長 (12月14日 自民党本部)

第47回衆議院総選挙



医師14名当選

十二月十四日投票の第四十七回衆議院総選挙において、十名を以て、激励の挨拶を受けて、安倍総理に祝意を述べた。

医師 衆議院議員

平成26年12月15日現在 (敬称略・政党別当選回数順)

氏名	政党	選挙区	当選回数
鴨下 一郎	自民党	東京13区	8
富岡 勉	自民党	長崎1区	3
三ッ林 裕巳	自民党	埼玉14区	2
今枝 宗一郎	自民党	愛知14区	2
勝沼 栄明	自民党	比例東北	2
赤枝 恒雄	自民党	比例東京	2
小松 裕	自民党	比例北陸信越	2
新谷 正義	自民党	比例中国	2
大隈 和英	自民党	比例近畿	1
阿部 知子	民主党	比例南関東	6
岡本 充功	民主党	比例東海	4
中島 克仁	民主党	山梨1区	2
伊東 信久	維新の党	比例近畿	2
河野 正美	維新の党	比例九州	2

また、投票日の十四日夜、自民党本部で安倍晋三内閣総理大臣(自民党総裁)と面会し、衆議院総選挙での自民党圧勝を以て、安倍総理に祝意を述べた。